<table>
<tr><td rowspan="2">科目区分</td><td rowspan="2">専門分野</td><td>科目名</td><td>地域･在宅看護援助論Ⅲ
（状態別看護）</td><td>対象学生</td><td>第３学年</td></tr>
<tr><td>単位数（時間数）</td><td>１単位（15 時間）</td><td>学　　期</td><td>第１学期</td></tr>
<tr><td>担当講師</td><td colspan="3">（院外講師）</td><td>実務経験</td><td>有</td></tr>
<tr><td>科目目標</td><td colspan="5">１．在宅療養者の対象に応じた看護を理解する。
２．在宅療養者と家族に対し健康維持、QOL 向上を目指した看護を理解する。</td></tr>
<tr><td>授業計画</td><td colspan="5">第１回　急性期にある在宅療養者の看護　（講義・演習）
緊急性と重症度のアセスメント、状態に合わせた対応・看護
急性症状への対応、感染症（インフルエンザ、COVID-19 等）への対応
第２回　慢性期にある在宅療養者の看護　（講義・演習）
慢性期の特徴を踏まえた状態のアセスメント、状態に合わせた対応･調整
急性増悪の早期発見と対応、社会資源の活用・調整
合併症の予防と対処、活用できる社会資源
第３回　回復期（リハビリテーション期）にある在宅療養者の看護（講義・演習）
在宅におけるリハビリテーション
生活機能・日常生活動作(ADL)手段的日常生活動作(IADL)のアセスメント
状態に合わせた対応・調整、合併症の予防と対応
居住環境のアセスメントと対応・調整、社会資源の活用・調整
第４回　終末期(看取り期）にある在宅療養者の看護　（講義・演習）
症状マネジメント、終末期緩和ケアの実際、看取りの援助
家族へのグリーフケア
第５回　小児の在宅療養者への看護　（講義・演習）
在宅療養継続のための療養者の健康危機管理
療養者の自立支援と QOL の維持・向上のための在宅療養支援
第６回　生活の自立を目指す精神障害者への看護　（講義・演習）
在宅療養継続のための療養者の健康危機管理
療養者の自立支援と QOL の維持・向上のための在宅療養支援
在宅療養継続のための家族支援
第７回　難病がある在宅療養者への看護　（講義・演習）
在宅療養継続のための療養者の健康危機管理
療養者の自立支援と QOL の維持・向上のための在宅療養支援
在宅療養継続のための家族支援
第８回　終了試験</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="5">筆記試験、課題レポート</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td colspan="5">地域・在宅看護の基盤１、地域・在宅看護の展開２　医学書院</td></tr>
<tr><td>講師からのメッセージ</td><td colspan="5">人間と社会、基礎看護学、地域・在宅看護論、疾病・治療論の既習科目を復習して授業に臨む。在宅療養者とその家族の状況がイメージできるよう視聴覚教材を用い、講義・演習を組み合わせ学習する。療養者と家族の QOL を考慮した状態に応じた看護ができるよう学習を深めていく。国家試験出題基準を確認し学習すること。</td></tr>
</table>